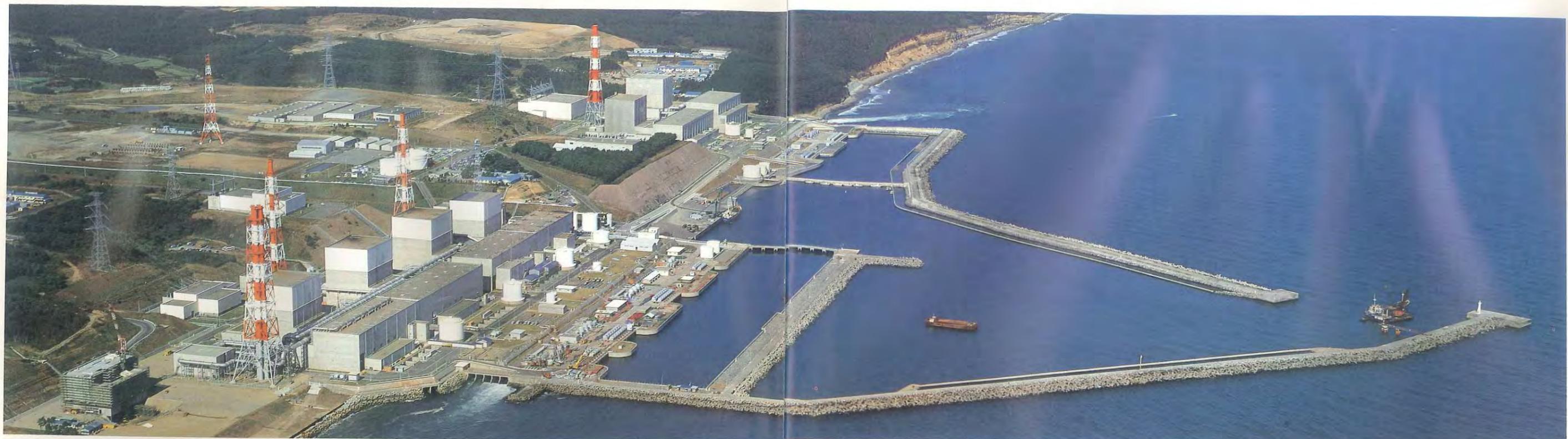


1980
昭和55年

東京電力



 東京電力株式会社
東京都千代田区内幸町1丁目1番3号 電話(03)501-8111



完成した福島第一原子力発電所（総出力469万kW）

脱石油をめざして

石油への過度の依存を改め、エネルギー需給の安定をはかるためには、「省エネルギー」とともに「石油に代わるエネルギーの開発」がぜひとも必要です。わが国では、55年5月に「石油代替エネルギーの開発および導入の促進に関する法律」(代替エネルギー法)が施行され、国をあげて代替エネルギーの開発に長期的に取り組んでいくことになりました。

石油に代わるエネルギーは、原子力、水力、地熱など、電気に転換して使用されるものが大半を占めており、電気

事業に課せられた使命は一段と重くなっています。

当社では、従来から原子力開発、LNGの導入拡大をはじめとするエネルギー源の多様化を積極的に進めておりますが、石炭についても本格導入のための諸準備を鋭意進めております。

また、太陽光、風力などの自然エネルギーについても、原子力、石炭、LNGを補完するものとして研究、開発を続けています。



袖ヶ浦火力発電所（千葉県）のLNGタンク

期待にこたえる原子力

代替エネルギー開発の主役として期待されるのは原子力です。当社は、脱石油をめざして原子力開発に力を注いでおり、現在では原子力発電設備は、全発電設備の約15%と既に水力発電設備を上回る規模となっています。これまで2度にわたる石油危機を通じ原子力発電がエネルギー供給の安定に加えて、コストの安定にも役立っていることが実証されました。

諸外国も、石油供給不安を背景に原子力開発に力を入れており、アメリカでも、スリーマイル島原子力発電所の事故という不幸な経験を乗り越えて、より安全性に重点をおいた開発が進められようとしています。

当社は、安全性、信頼性の向上にお一層の努力を払いながら、みなさまのご理解を得つつ、今後も原子力発電の定着に積極的に取り組んでまいります。

